

公益財団法人京都日本語教育センター 京都日本語学校
2018年度 第51回秋季講演会

外国人材の活用と日本語コミュニケーション（対話）の重要性 ～複言語・複文化環境で育った人々が京都に福を運んでくる～

講師：野山 広 氏 国立国語研究所准教授

複言語・複文化環境で育ったいわゆるバイリンガル（二言語話者）の人々は、モノリンガル（単一言語話者）より創造性に富み、コミュニケーションの幅・範囲が広く、他人の意見や行動に対する寛容性・柔軟性が高いとされています。また、そうした寛容性や対話力（柔軟なコミュニケーション力）の高さを備えた人々の大半は、自分の言語・文化、慣習等と違った人々に対する人種差別の感覚がほとんどありません。ということは、複言語・複文化環境の中でもまれた外国人材の活用は、やがて京都の人々との間に「対話」を潤滑油とした「福」をもたらすことになるでしょう。

日 時：2018年10月20日（土）

14:00～16:00

会 場：京都市国際交流会館 特別会議室

定 員：100名

参加費：無 料

申込方法：お電話、E-mailにて

アクセス：地下鉄：東西線「蹴上」駅下車



〈主 催〉

日本の心と言葉を学ぶなら 京都日本語学校



公益財団法人京都日本語教育センター

Since 1950

Homepage : <http://www.kjls.or.jp>

E-mail : kouenkai@kjls.or.jp

TEL 075-414-0449

〈後 援〉

京都商工会議所 (公財) 京都府国際センター (公財) 日本漢字能力検定協会

留学生スタディ京都ネットワーク

(株)アスク出版 (株)アルク (株)オープンゲート (株)くろしお出版

(株)国書刊行会 (株)ココ出版 (株)スリーエーネットワーク (株)凡人社